

ACANTHUS



特集

糖尿病看護認定看護師教育課程を開設 中央大学との包括連携協定を締結

Index

学長挨拶	2	留学制度	11
【特集】 糖尿病看護認定看護師教育課程を開設	3	【連載】 研究室への誘い 文学部英語英米文化学科	12
【特集】 中央大学との包括連携協定を締結	3	Club & Circle クラブ・サークル	14
2016 (平成28) 年度の就職概況と今後の見通し	4	ウィーン国立音楽大学 創立200周年記念式典に参列	16
2017 (平成29) 年度 入学式	5	2017 (平成29) 年度 保護者会・講演会役員会	16
新入生宿泊セミナー・遍路ウォーク	5	「在学生保護者のためのキャンパス見学会」のお知らせ	16
教員の活躍	6	2016 (平成28) 年度 決算状況	17
学生の取り組み	7	2017 (平成29) 年度 新任教職員プロフィール	18
Close-up campus クローズアップキャンパス	8	TOPICS お知らせ	19





中央大学との連携



学長 桐野 豊

2017（平成29）年7月5日（水）に、中央大学（東京都）の酒井正三郎総長・学長、橋本基弘副学長が徳島キャンパスにいられて、包括連携協定の締結式を行いました。これにより、両大学間で学生交流等を通じて広く連携を進めていきます。

この連携の意義は次のようなものです。異なる地域の異なる大学で学ぶことにより学生自身の人間的成長を促すことが期待できます。特に、現在最重要の政策となっている「地方創生」の課

題に取り組むうえで、学生が都市と地方の生活を経験することは、大きな意義があります。よそ者の視点で地域の問題がよく見えることもあるでしょうし、都市と地方の共存・共栄を考えるきっかけにもなるでしょう。

学生が複数の大学を経験することは、上記のように学生個人にメリットがあるだけでなく、大学の教育の質を高める効果があります。学生が他の大学を経験することで自分の所属大学に改善提案をする、あるいは、他の大学での体験を聞いた大学教員が教育研究の改善に気づくことが期待できます。こういった観点から、欧州（EU）では、学生が国境を越えて大学を移動する仕組み（エラスムス計画）が整えられており、学生の流動性を高めることが大学の質の向上に必要であるという考えが確立しています。また、わが国でも、2017（平成29）年2月に中央教育審議会大学分科会が公表した「今後の各高等教育機関の役割・機能の強化に関する論点整理」という文書には、「学生が所属する高等教育機関以外での学修や、都市部に立地している大学と地方に立地している大学との学生同

士の交流などを通じて、学生の流動性を高めるための方策について検討する必要がある」という趣旨の記述があります。EU諸国の大学は、ほとんどが国立・公立大学であり、授業料もほとんど無料であるなど、日本とは状況が大きく異なっているため、同様の計画を日本で直ちに実施することは困難でしょう。しかしながら、条件が整うのをただ待っているわけにはまいりません。「今在籍している学生にベストの教育を！」というのが徳島文理大学の教育方針です。

中央大学は、法・経済・商・理工・文・総合政策の6学部からなる総合大学で、本学には無い法学部・経済学部・商学部があり、一方で本学が有している医療系学部や音楽学部はありません。このように程よい相補的な関係にあります。これが契機となって、今後、両大学の学生が一層盛んに交流する「国内版短期留学」が実現することが期待されます。

〈関連記事〉

・ <https://www.bunri-u.ac.jp/info/news/20170705.html>



地域連携センターに糖尿病看護認定看護師教育課程を開設

認定看護師制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出し、医療的ケアの質の向上をはかることを目的として実施する日本看護協会の認定制度です。その資格獲得のためには約半年におよぶ講義、実習等が必須で、なかなかハードルが高いものとなります。しかも養成課程をもつ施設は数が限られており、近くに目的と

する施設がない場合には移住を余儀なくされることも珍しくありません。本学では、徳島県および徳島県看護協会等の強い要請に基づき地域連携センターに糖尿病看護認定看護師教育課程を開設し、2017（平成29）年5月よりスタートさせることができました。徳島県では初めての養成課程開設となります。さらに、今年度糖尿病看護認定看護師教育課程を募集しているのは全国でわずか2カ

所であり、徳島のみならず全国的にも注目されています。現在、徳島県出身者10人をはじめとする計15人の受講者が全国から集まり、資格習得をめざしています。糖尿病対策は徳島県の大きな課題のひとつですが、本課程の卒業生が必ずこの課題解決に大きく寄与してくれるものと期待しています。

中央大学と徳島文理大学との包括連携協定締結式

2017（平成29）年7月5日（水）、徳島キャンパスにて中央大学（東京都）との包括連携協定の締結式を行いました。

中央大学から酒井正三郎総長・学長、橋本基弘副学長出席のもと、学生交流等を通じて広く連携を図り、社会にその成果を還元することに合意し協定を締結しました。桐野豊学長と酒井総長・学長がそれぞれ協定書にサインし、握手を交わすと会場は拍手に包まれました。本協定の締結により、今後は両大学の学生が行き来し、相互に交流する「国内版短期留学」が実現可能となります。

具体的には、本学の夏季集中講座として開講される科目「医療と行政」（8月7日（月）～10日（木））を中央大学の学生が受講することができ、また、本学の学生は中央大学夏季スクーリング開講科目

（8月8日（火）～10日（木）、8月11日（金）～13日（日）、8月15日（火）～17日（木）のいずれかの日程）を受講することができます。

桐野学長は「学生が普段と違う環境の大学を経験できる国内版短期留学制度の意義は大変大きいと思っている。都市部

の大学を経験することで見識を深めてもらいたい」と述べました。

将来的には研究交流や地域交流にも視野を広げ、教育研究の成果をそれぞれの地で寄与していきたいと考えています。



2016 (平成 28) 年度の就職概況と今後の見通し

● 2016 (平成 28) 年度の就職概況

2016 (平成 28) 年度の本学卒業生の就職率は、全国的な景気回復基調もあり、前年度から0.6ポイント高い過去最高の99.1%となりました。内訳は大学が99.2%、短大が97.7%で厚生労働省・文部科学省の共同調査(国立大学を含む抽出調査)の全国平均(大学97.6%、短大97.0%)をともに上回りました。

教員を含む公務員関係の就職者は242人で、全就職者に占める割合が27.9%と高い率となりました。

● 今後の見通し

これからの就職状況ですが、企業の採用意欲は依然高い状況が続いています。大手就活サイトの企業に対する新卒者求人調査

においても、倍率が前年より0.04ポイント向上し1.78倍となったとの結果が出ています。いわゆる「売り手市場」が今後も続くことが予想されます。

しかし、求人の状況には業種や会社規模によって大きな差があります。業種別で見ると、流通業(11.32倍)や建設業(9.41倍)が近年で最高の倍率となっている反面、金融業(0.19倍)では極めて厳しい状況となっています。従業員規模においても、300人未満の企業(6.45倍)と1,000人以上の企業(0.71倍)では大きな差がありますので、就職先を選定する際には注意が必要となります。

また、多くの企業が選考基準を緩和せず、満足する学生でなければ採用しない厳選採用を続けています。業界・企業研究不足や企業が求める資質に対する認識の甘さも指

摘されています。学生の皆さんは、このようなことを考慮して就職活動を進めていくことが大切です。

経済団体連合会の指針で、昨年度に引き続き、広報活動開始は3月1日、選考開始が6月1日からとなりました。このスケジュールでの活動は2年目となりますが、その間、企業の採用活動の方法が多様化してきています。「超短期決戦」と言われるように、就職活動の準備期間が大幅に短くなりました。インターンシップや企業説明会を選考に結びつける企業や指針のスケジュールに先行して採用活動を開始する企業が増えてきています。このような傾向はますます強まると考えられますので、油断して、受験のチャンスを逃がさないように、企業の動向を常に把握しておくことが肝要となります。

〈就職活動スケジュールの変遷〉

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2015年 3月卒				選考活動 (採用面接等)							
2016年 3月卒					選考活動 (採用面接等)						
2017年 3月卒						選考活動 (採用面接等)					
2018年 3月卒							選考活動 (採用面接等)				

〈一般的な就職活動スケジュール〉

大学3年生(短大1年生)						大学4年生(短大2年生)															
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己分析																					
業界研究																					
職種・企業研究																					
インターンシップ(夏)						インターンシップ(秋・冬)															
						企業説明会(合同・個別)															
						エントリーシート・履歴書提出															
						試験・面接(経団連加盟企業等)															
						試験・面接(経団連非加盟企業)															
						内々定・内定															

● 本学の就職支援

本学の就職支援は、各種情報の提供や担当者による個別相談はもちろんのこと、ガイダンス・就職セミナー・就職試験対策集中講座・学内合同企業説明会・就活バス・公務員説明会・就職体験発表会・手引き書の作成など、多岐にわたるきめ細かく実施しているのが特徴です。また、就職戦線の状況を踏まえ、その都度見直しを図っています。

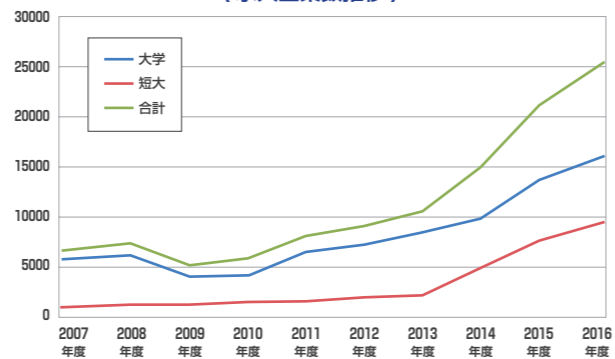
昨年度の実績ですが、個別相談件数はのべ6,000回に上りました。学内合同企業説明会には全国から約400社の参加がありました。求人をお願いした企業数は過去最高となる25,140社でした。今年度においても昨年度を上回るペースとなっています。

今年度は、複雑化しているインターンシップへの対応や、学生と企業とのマッチングを図るための小規模・単独学内企業説明会の取り組みを強化しています。

以上のように、本学における就職活動への支援は手厚いものとなっています。しかし、大切なことは何をしても学生の皆さんの意欲と積極的な行動です。就職活動で失敗する最大の原因は準備不足です。しっかりと準備ができていた学生とそうでない学生間の二極化現象が顕著化してきてい

ます。卒業間際になって困らないように、しっかりと学業を深めるなかで職業観・勤労観を培い、早い時期から計画的に就職活動への準備をしていくことが望まれます。

〈求人企業数推移〉



2017 (平成 29) 年度 入学式

2017 (平成 29) 年度入学式が4月2日(日)徳島キャンパスで、4月3日(月)香川キャンパスで華やかに挙行され、新入生が新たな生活をスタートさせました。

まず、桐野学長が入学許可を宣言し、式辞では「知的好奇心をもっていきいきとエンジョイし、さまざまな人と親しく

交わってほしい」と激励しました。総合政策学部総合政策学科の藤川祥江さん(徳島キャンパス)と文学部日本文学科の村橋万里さん(香川キャンパス)が、それぞれ「自立協同の建学の精神のもと勉学に励み、社会で期待され活躍できる能力を培うことを誓います。」と決意を

述べました。

式典終了後には、音楽学部・短期大学部音楽科による演奏も行われ、歓迎ムードに包まれました。

新入生は徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて1,105人。



徳島キャンパス



香川キャンパス

新入生宿泊セミナー・遍路ウォーク

本学では自然に恵まれた環境の中で寝食をともにすることにより、学科や特定グループにとらわれずに学生同士や教職員との親睦を深め、充実した学生生活を送ることを目的として、毎年4～5月に「新入生宿泊セミナー」を行っています。2017 (平成 29) 年度、徳島キャンパスでは6学部(薬学部・人間生活学部・総合政策学部・保健福祉学部・音楽学部・短期大学部)が、香川キャンパスでは4学部(香川薬学部・保健福祉学部・理工学部・文学部)が学部独自の宿泊セミナーを実施しました。

徳島キャンパスにある6学部では、牟岐や淡路島などでレクリエーションを行ったり、貼り絵タイル作成や吹上浜での砂の造形などの各プログラムを実施しました。また、香川キャンパスにある4学部では瀬戸内海国立公園内にある源平合戦の古戦場の一つ、屋島壇ノ浦が望める「屋島少年自然の家」で新入生宿泊セ

ミナーが行われ、野外炊飯やバレーボール、カッター訓練を行いました。両キャンパスの各学部とも先輩や先生方と協力し、より団結を強めることができました。参加した新入生は、誰もがいきいきとした表情で活動に取り組み、非常に有意義なセミナーになりました。

なお、本学では「新入生宿泊セミナー」のほかに「文学部」の一環として地元の歴史・地理・文化を直接見て、聞いて、感じて、学び、大学や地域について学ん

でもらう「地域学(遍路ウォーク)」を行っています。徳島キャンパスでは各学科が1番札所(霊山寺)や6番札所(安楽寺)、18番札所(恩山寺)などから出発し、遍路道を歩くという日常では経験できない貴重な時間を過ごす中で、あまり話したことの無い学生同士がお互いを気遣いながら歩くことで協調性の大切さを学びました。なお、香川キャンパスは、11月10日(金)に「遍路ウォーク」を実施する予定です。



カッター訓練



18番札所 恩山寺(口腔保健学科)

皮膚コラーゲンの維持に亜鉛は重要 —10年を費やした研究の結実—

薬学部 (病態分子薬理学研究室) 深田俊幸 教授

亜鉛は私たちの生命の維持に必要な元素の一つです。亜鉛の摂取量が減少すると、成長の遅れ・骨密度の低下・味覚の異常・免疫力低下・皮膚の異常等が現れます。特に、皮膚脆弱化は亜鉛欠乏の症状の一つですが、皮膚を造る細胞で亜鉛はどのような役割を果たしているのか、よく判っていませんでした。皮膚には頑丈性や保湿性を保つためにコラーゲン線維が存在します。そこで、皮膚のコラーゲン線維を産生する線維芽細胞に着目して、皮膚での役割が不明であった亜鉛の輸送体である亜鉛トランスポーターZIP7を研究しました^[1]。

マウス個体の線維芽細胞からZIP7の機能を遮断すると、皮膚の線維芽細胞が減少し、コラーゲン線維の低下と皮膚の薄弱化が現れました(図)。約10年におよぶさまざまな研究の結果、ZIP7が調節する亜鉛が線維芽細胞の増殖に重要であり、タンパク質の品質管理を行っている小胞体の機能を調節していることが判

明しました。皮膚は外界との境界を形成する重要な組織であり、コラーゲン線維は皮膚そのものの強靱性と弾力性の維持に関わっています。今後は、ZIP7の亜鉛輸送活性を制御することを念頭に、皮膚疾患や皮膚の老化等に関する創薬研究を行いたいと考えています。

このような亜鉛に関する研究を実施する一方、私は亜鉛栄養治療研究会の会長として、亜鉛の重要性を医師・薬剤師・看護師等の医療従事者や一般市民に伝える活動にも取り組んでいます。そこで、最近特に感じているのが名前の重要性です。「亜鉛」という名は、生命に必要な元素としてはあまりふさわしいネーミングではありません。名づけ親は、有名な漢方医「寺島良安」とされており、発見時の形状が鉛に似ているので亜鉛と名づけたという説があります。亜鉛は有毒な鉛とは全く異なる元素であり、日本以外の漢字圏では「zinc」の英語発音から亜鉛を「鋅」または「鋅」で表しています。

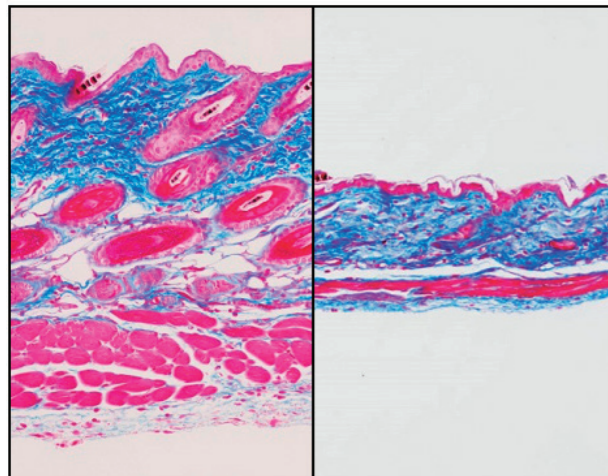
「zinc」はドイツ語のzinkeやzinken(先が尖ったもの)に由来し、その形状から名づけられたとされています。実は、日本では医療機関でも亜鉛の必要性の認識があまり進んでいません。「名前のせいもあるのかな?」と感じています。

さて、世界に目を向けると「亜鉛・鋅/鋅・zinc」の研究が目覚ましく進んでいます。6月には第5回国際亜鉛生物学会総会がキプロスで開催され、日本からも多くの研究者が参加しました。今回の研究成果は、幸運にも徳島新聞をはじめ、さまざまな業界紙に掲載されました。本学を「亜鉛・鋅/鋅・zinc」研究の拠点とすべく、今後も地域と世界への情報発信に努めていきたいと思っています。

[1] 発表論文
論文タイトル: Requirement of zinc transporter SLC39A7/ZIP7 for dermal development to fine-tune endoplasmic reticulum function by regulating protein disulfide isomerase
掲載雑誌: Journal of Investigative Dermatology
2017, DOI: 10.1016/j.jid.2017.03.031

対照マウス

ZIP7欠損型マウス



徳島新聞 5月24日(水) 朝刊より転載▶

皮膚のコラーゲン線維 (青色部分)

◀皮膚線維芽細胞でZIP7を欠損させる(右)と、コラーゲン線維が減少して皮膚が薄弱化する ([1]の論文より改変)。



約3,000人を防災委員とする
「徳島文理大学徳島キャンパス学生自主防災クラブ」(新規)を発足!

- 四国初、全国でも珍しい取り組み。
- 徳島キャンパスの全学生約3,000人を防災委員とする。
- 各学科・各学年のリーダーとして、計116人の「学生自主防災委員長」および「副委員長」を選出し、委員会活動に位置づけた。
- 「学生機能別消防団活動」も視野に入れる。
- 「防災士」の資格取得や、より地域社会に貢献できる人材育成をめざす。

近年多発している大規模災害や、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震で、自分の命はもちろんのこと、誰一人としてかけがえのない大切な命を失うことのない最善の行動が取れるよう、自助・共助の意識と当事者としての強い自覚と実践力を持った学生一人ひとりの防災力を高めることを目的として発足しました。

5月27日(土)に行われた第1回研修会では、副委員長の人間生活学科4年 勝田志歩さんが代表して挨拶を行い、全員が真剣に研修に取り組みました。第2回研修会は8月1日(火)教職員の自衛消防組織と合同で行いました。10月18日(水)に全学防災訓練、11月には国の委託事業として県・地域の自主防災組織と連携して避難所運営の実践を行う予定です。



真剣に意見を出し合う学生たち



地震体験 (震度7)

第1回「学生自主防災委員長」および「副委員長」研修会

【日 時】 2017年5月27日(土)
9時~11時
【場 所】 徳島県防災人材育成センター
【研修内容】 「基礎・基本の座学」
地震・津波の基本的な知識
および地震体験 (震度7)
【講 師】 徳島県危機管理部
防災人材育成センター
課長補佐 平山靖史 氏
【参加者】 41人



2017 (平成29) 年度 新規事業 (徳島キャンパス)
徳島市主催: 部活動対象「普通救急救命講習会 (3時間コース)」を実施

私たちは、いつ、どこで、突然病気がけがにおそわれるかわかりません。呼吸ができなくなったり、心臓が止まったり、大けがをして大出血をおこした場合、救急車が来るまでに何らかの処置をしないと命は助かりません。

そこで学生部が主体となって、部活動を行っている学生を対象に、徳島市が主催する「普通救急救命講習会(3時間コース)」を実施しました。講習会の参加者には、防災士の資格を取得するために必要な修了証が徳島市消防局より発行されました。

【参加者】 15人 (KOKORO・山城祭実行委員・サッカー部・空手道部・人形浄瑠璃部・女子バレーボール部・BBS部・硬式テニス部・コミックアート部)



AEDの操作を学んでいる様子

第1回
【日 時】 2017年4月18日(火)
13時30分~16時30分
【場 所】 徳島キャンパス
2号館2階 アカササスタジオ
【指導者】 徳島市消防局 消防課 救急救命士

第2回
【日 時】 2017年4月26日(水)
13時30分~16時30分
【場 所】 徳島キャンパス
2号館2階 アカササスタジオ
【指導者】 徳島市消防局 消防課 救急救命士
【参加者】 9人 (BBS部・人形浄瑠璃部・女子バレーボール部・手話部・茶道部・高知県人会)



熱戦を繰り広げる学生たち



表彰式の様子

友人の輪 広がる ～「第1回 理事長杯ドッジボール地域別新入生対抗マッチ」開催～

2017(平成29)年7月6日(休)・13日(休)に新入生を対象とした「第1回 理事長杯ドッジボール地域別新入生対抗マッチ」が徳島キャンパス体育館で開催されました。学科が違っても部活動やサークル活動以外で同じ出身地域の友人と知り合える機会が少ないため、同郷の友人と知り合え

る機会をもつことを目的とし、今年度初めて開催することとなりました。安全面に配慮しソフトバレーボールを使用したドッジボール大会となりましたが、白熱した試合が繰り広げられました。最初はごちないところもありましたが、試合を重ねるにつれ各チームの団結

力が生まれ、チーム一丸となって熱戦を繰り広げていました。優勝したチームには賞状・優勝カップ・景品が贈られました。学科の友人だけではなく同郷の友人とも知り合うことで、さらに充実した学生生活を送ってほしいと思います。

文学部文化財学科 古田 昇(地理学・環境歴史学) 教授 NHK「プラタモリ」構成の指導助言と出演

文学部文化財学科 古田昇教授が、NHK 総合テレビの番組「プラタモリ」の広島県尾道市のシリーズで地理学と環境歴史学の立場から、さまざまなアドバイスを行いました。また、2017(平成29)年5月20日(土)にオンエアされた「#73 尾道」に出演し、タモリさんと近江アナウンサーに、なぜ尾道が歴史的に古く、重要な位置を占めているのかについて、町の成立経緯などを説明・案内しました。尾道の北およそ30kmの中国山地に平安時代後期に成立した高野山領の荘園「太田庄(庄)」の農産物を高野山に海上輸送する拠点(倉敷地)として尾道が選定され、そのことがきっかけで、瀬戸内

の海陸輸送の重要な拠点として尾道が栄えていったことを説明しました。文化財学科では、十数年にわたって尾道市の文化財調査を続けており、尾道や太田庄の地形環境調査を続けている古田教授が、環境歴史学の立場から尾道の賑わいの秘密となぜ人々は尾道に魅せられるのかについての歴史的な背景を解説しました。詳細は、NHKのホームページ「タモリのぶらぶら足跡マップ」をご覧ください。



「プラタモリ」での一場面

「タモリのぶらぶら足跡マップ」

<http://www.nhk.or.jp/buratakori/map/list73/route2.html>

「第9回 一般社団法人香川県臨床工学技士会学術大会」に26人の学生が参加

2017(平成29)年4月16日(日)にサンポート高松シンボルタワー6階 かがわ国際会議場をメイン会場にして「第9回 一般社団法人香川県臨床工学技士会学術大会」が開催されました。本学の卒業生を含む香川県内の医療機関で活躍されている臨床工学技士の皆さんが日ごろの研究成果を発表されました。また、特別講演では、臨床工学技士が使用するようになりつつある超音波診断装置の基礎や心電図の基礎に関する講演がありました。本学からは、臨床工学科の2年生から4年生までの学生26人と、臨床工学技

士の教員が参加しました。特別講演会は、2年生が今まさに勉強している内容で、3・4年生にとっては実習内容の復習となり、とても有意義な時間となりました。さらに、4年生は5月8日(月)から始まる臨床実習に向けて、実習指導者の方とコミュニケーションを図る良い機会となりました。また、香川県内に就職を希望している学生にとっては、各医療機関の臨床工学技士の方々に、自身をアピールすることもできました。学生にとっては、難しい内容の発表もありましたが、学会の雰囲気や体験できたとても良い機会となりました。

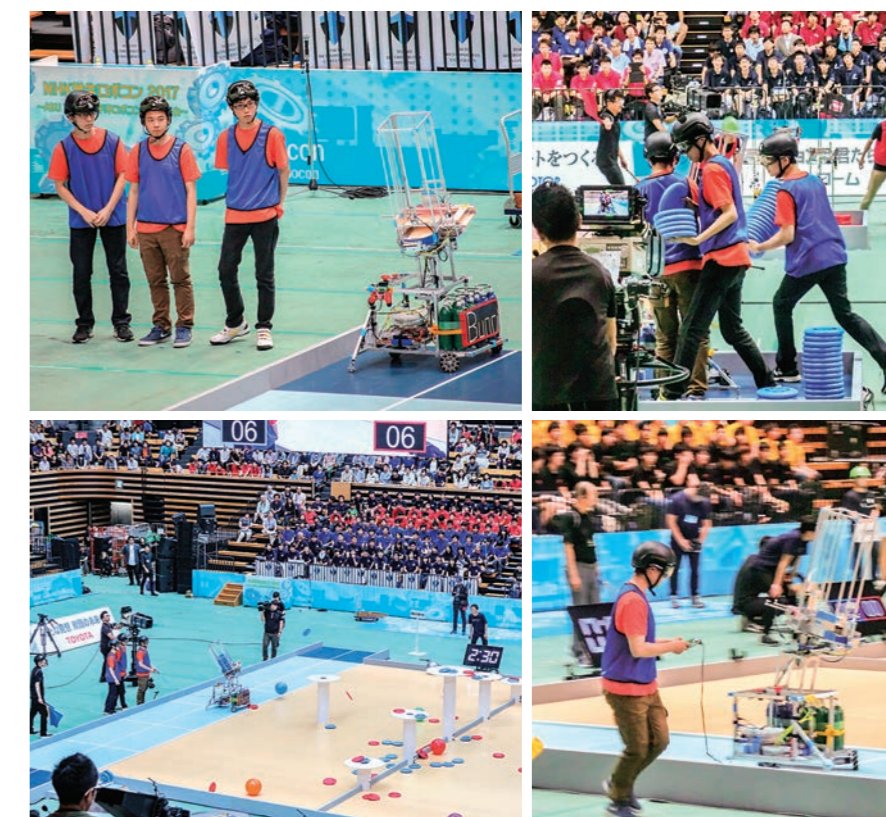
臨床工学科では、今回の学術大会のようにより多くの貴重な体験ができるように取り組んでいます。また、今回は学生の発表はありませんでしたが、中四国臨床工学会などで発表できる機会を設けています。その他にも、入学早期の患者体験、病院見学、普通救命講習会、災害トリアージ講習会、就活セミナーや卒業生が後輩のために自身の国家試験対策や就活の体験談を語ってくれる特別講演会などを開催しています。今後も学科教員が一丸となり学生をサポートしていく体制を整えていきます。

「NHK 学生ロボコン2017 -ABU アジア・太平洋ロボコン代表選考会-」への出場

「NHK 学生ロボコン2017」の競技課題は、やわらかいディスクを飛ばして、高さや位置の異なる7つの台の上に乗っているボールを落とし、さらに台の上にディスクを乗せるというものでした。理工学部チームは、1月下旬の第1次ビデオ審査を非常に高い評価で通過しました。それを引き継いだのが、当時3年生だった機械創造工学科の学生3人です。他大学では少なくとも十数人の学生で活動しているところがほとんどですが、たった3人で本戦出場をめざし、春休み返上でロボットの改良に取り組みました。試行錯誤を繰り返し、ロボットに搭載するディスク枚数の増加、飛距離アップを実現し、4月上旬の第2次ビデオ審査に応募、見事出場権を獲得しました。今回大会に出場したのは審査を通過した24校で、中四国地区では本学のみです。3人の努力が実を結びました。その後、入学した1年生6人が活動に参加するようになり、大会に向けて毎日ロボットの改良と練習に取り組みました。6月11日(日)の大会では、抽選の結果、三重大学(シード校)と信州大学と同じ予選グループになりました。予選グループ初戦の三重大学戦では残念ながら得点を奪えずに負けてしまいましたが、東京

まで駆けつけてくれた応援団の声援のおかげもあり、2試合目の信州大学には7対5で勝つことができました。1勝1敗でグループ2位(全体ではベスト16)

という結果になりました。出場した学生一同、他大学のロボットに刺激を受け、さらなる高みをめざして精進したいと意欲を燃やしています。



競技で健闘する学生たち

NPO 法人 AwatterLab

電子書籍『私たちが魅了されたひとまちしごと』を出版

メディアデザイン学科の学生によるNPO 法人 AwatterLab から、電子書籍『私たちが魅了されたひとまちしごと』が出版されました。

本学では、2007（平成19）年から毎年「徳島文理大学公開講座」を開催し、その講演録をもとにした書籍を出版しています。

2016（平成28）年までの10巻の書籍の中で、特に地方創生の視点から、「NPO 法人グリーンバレー」（神山町）の大南信也理事長のほか、葉っぱビジネスの販売を支援する「いろいろ」（上勝町）の

横石知二社長、「種苗会社河野メリクロン」（美馬市）の河野通郎社長らの講演を、電子書籍として再出版しました。

四国は全国的にみても少子高齢化や人口減少が進んでおり、日本の中でも「課題先進地域」といえます。同じような地域は全国に数多くあり、これらの地域が課題解決の方策を見出し「課題解決先進地域」となっていくことが切望されます。

本書に登場する5人の方々の自分のまちでの体験をもとに自分の頭で考え、周囲の人々を巻き込み、地方創生に成功した物語に魅了されることと思います。



AmazonのKindleストアで発売中です。ぜひ、ご一読ください。



リサイタルの様子

短期大学部音楽科 熊谷公博教授 バリトンリサイタルを開催

2017（平成29）年7月8日（土）に熊谷公博教授によるバリトンリサイタルが、徳島キャンパスむらさきホールで盛大に開催されました。

古典派、ロマン派から、近・現代までのイタリアの声楽作品に、日本歌曲、オペラアリアを含めた、非常に精力的かつ

ユニークなプログラム構成となりました。

むらさきホールいっぱいに響き渡るバリトンの深みのある歌声は谷口泰子氏のピアノとのバランスも良く、会場を埋め尽くした約1,300人の聴衆から、おしめ拍手が送られました。

日和佐・薬王寺門前ライトアップコンサートに出演

2017（平成29）年7月15日（土）の午後、美波町日和佐で開催された「うみがめ祭り」に徳島ウインドオーケストラのメンバーが出演しました。昨年に続いて今年もオファーをいただき、一同楽しみにしていたコンサートです。

コンサート当日、歴史ある薬王寺の山門の前にセッティングをし、猛暑の中のリハーサルで疲れが限界に達すると思われましたが、参拝にいられていたお遍路さん一家のお子さんが白装束の姿で星野源氏の「恋」ダンスと一緒に踊ってくれたこともあり、暑さも吹き飛びました。本番における成功を予見させた楽しいで

きごととなりました。

19時30分の開演にはたくさんの皆さまにお集まりいただき、「祭」「海の声」など、親しみやすいプログラムに温かい拍手やお言葉をいただきました。学生たちも昭和の時代にタイムスリップしたような門前町の華やかな賑わいと今年最初の花火を堪能しました。今後は、本学のサテライトスタジオとなっている民家でも何らかの形でコンサートを開催したいと思いました。

ぜひ来年も美波町の皆さまと音楽を楽しみたいですね。



お遍路さんと一緒にダンスのリハーサル



ライトアップされた薬王寺門前にてコンサート

留学制度

多彩な留学プログラムを用意しています



全学部生対象 語学短期留学

夏はカナダや韓国、オーストラリア、春はオーストラリアや台湾などで生きた語学を学び、異文化体験ができます。

カナダ ランガラ大学

カナダ・バンクーバーにあるランガラ大学への短期留学。一般家庭でホームステイをしながら英語を学び、異文化理解を深めます。

【期間】8月初旬～（約3週間）
【費用】約40万円
【定員】約20名

備考…夏季休暇中に催行するため卒業年限に影響せず、外国語科目2単位として認定されます。

韓国 檀國大学校

韓国・ソウル近郊の龍仁市にある檀國大学校への短期留学。学生寮に滞在しながら韓国語を学び、語学力と国際感覚を磨きます。

【期間】8月初旬～（約3週間）
【費用】約3万円
【定員】24名

備考…夏季休暇中に催行するため卒業年限に影響せず、外国語科目2単位として認定されます。

語学留学は檀國大学校との特別な協定により破格での留学が可能となっています。

オーストラリア グリフィス大学

オーストラリア・ゴールドコーストにあるグリフィス大学附属英語学校への短期留学。一般家庭でホームステイをしながら英語を学び、異文化理解を深めます。

【期間】8月下旬～（2・3週間）・3月初旬～（3週間）
【費用】約35万円（2週間）・約40万円（3週間）
【定員】約20名

備考…春季・夏季休暇中に催行するため卒業年限に影響せず、外国語科目2単位として認定されます。

台湾 淡江大学

台湾・台北市にある淡江大学附属語学学校への短期留学。台湾の歴史ある大学で中国語を学び、異文化理解を深めます。

【期間】3月初旬～（1週間）・3月初旬～（2週間）
【費用】約13万円（1週間）・約18万円（2週間）
【定員】約20名

備考…春季休暇中に催行するため卒業年限に影響せず、外国語科目1または2単位として認定されます。

香港 香港城市大学専上学院

香港城市大学専上学院への短期留学。ゲストハウスまたはホテルに滞在しながら、英語を学ぶとともに、初歩レベルの中国語修得をめざします。

【期間】3月上旬～（約10日間）
【費用】約15万円
【定員】約5名

備考…春季休暇中に催行するため卒業年限に影響せず、外国語科目1単位として認定されます。

全学部生対象 協定校留学 （交換留学）

協定校への交換留学プログラムです。

韓国 檀國大学校

韓国・ソウル近郊の龍仁市にある檀國大学校への交換留学。学生寮に滞在しながら同大学の講義を受講し、単位を修得します。

【期間】半年～1年間
【費用】交換留学制度に基づき、授業料は免除
【定員】若干名

備考…留学期間は在学期間として認定されるので、単位修得状況によっては修業年限での卒業が可能です。

オーストラリア グリフィス大学

オーストラリア・ゴールドコーストにあるグリフィス大学への交換留学。一般家庭でホームステイをしながら同大学の講義を受講し、単位を修得します。

【期間】半年～1年間
【費用】交換留学制度に基づき、授業料は免除
【定員】若干名

備考…留学期間は在学期間として認定されるので、単位修得状況によっては修業年限での卒業が可能です。

台湾 開南大学

台湾・桃園市にある開南大学への交換留学。2000年に開校した新しいキャンパスで同大学の講義を受講し、単位を修得します。

【期間】半年～1年間
【費用】交換留学制度に基づき、授業料は免除
【定員】若干名

備考…留学期間は在学期間として認定されるので、単位修得状況によっては修業年限での卒業が可能です。

台湾 嘉南薬理大学

台湾・台南市にある嘉南薬理大学への交換留学。薬学に精通した人材を多く輩出した同大学の講義を受講し、単位を修得します。

【期間】半年～1年間
【費用】交換留学制度に基づき、授業料は免除
【定員】若干名

備考…留学期間は在学期間として認定されるので、単位修得状況によっては修業年限での卒業が可能です。

全学部生対象 ヨーロッパ 芸術研修

ヨーロッパ各地を巡り、本場の芸術に触れる研修プログラムです。その他協定校への交換留学も可能です。

イタリア パヴィア大学

ミラノ・フィレンツェ・ローマを訪問し、音楽・絵画・建築などを鑑賞する研修。協定校のパヴィア大学を訪問し、学生交流も行います。

【期間】2月中旬～（約8～9日間）
【費用】約35万円
【定員】約20名

備考…春季休暇中に催行するため卒業年限に影響しません。



※上記以外の時期・渡航先に留学を希望する場合は、個別に留学相談を受け付けていますので、国際部までお問い合わせください。

※個人の修学状況に応じて渡航先や時期など留学プログラムを自由にオーダーメイドできます。

※自己啓発を目的とした留学希望の卒業生についても個別に留学相談を受け付けています。



文学部英語英米文化学科

【連載】研究室への誘い

- 英語英米文化学科 講師 山本 義浩 (専門:アメリカ文学)
- 英語英米文化学科 4年 石井 志保 (新居浜東高校出身)
- 英語英米文化学科 4年 宮宇地若菜 (高松北高校出身)

● 山本先生にお聞きします。英語英米文化学科の学びのポイントを教えてください。

1年次より、reading、writing、listening、speakingの4技能をしっかりと訓練し、TOEIC対策講座を含むカリキュラムによって英語運用能力を高めていきます。2年次からは「英語教育コース」と「英語コミュニケーションコース」に分かれ、英語教育・英語学・英米文学などのより専門的な学問を学びます。毎年多くの学生がカナダやオーストラリアの大学へ留学し、実践的な英会話能力を伸ばしています。日常の学習としては、基礎から学び直すための補習、ネイティブ教員とのチャットミーティング、教員試験対策講座も用意されています。

● 英語英米文化学科にはどんな研究室(ゼミ)・研究テーマがありますか？

篠田裕 研究室 (学科長)

・英語学
ジョークのメカニズムや新規情報処理の研究

阿部晃直 研究室

・社会言語学、英語教育
イングランドの英語教育政策および外国語教育政策の研究

伊藤徳文 研究室

・情報構造理論、語用論、言語哲学
言語表現における話者の心理状態に関する研究

中島正太 研究室

・19世紀イギリス文学と医療問題、翻案作品の研究

原田耕太郎 研究室

・社会心理学
フェアネス(公正)に関する研究

山本義浩 研究室

・ウィリアム・フォークナーを中心とする
20世紀アメリカ文学の研究

● 学生さんたちの雰囲気はいかがですか？ なかでも、このコーナーで取材する学生さんは、どのように勉強に取り組まれていますか？

学生と教員の距離が近く、気軽に研究室にやってきて勉強したり雑談したりという光景がよく見られます。新入生歓迎会や年度末の慰労会など、学年の壁を越えて親睦を深める機会も多く、学生同士の仲も良いです。毎年多くの学生が長期休暇を利用し

て海外留学に行くのですが、先輩の経験談を聞いて次は自分も、と考えることが多いようです。

言語・小説・音楽・映画など、自分の好きなことがそのまま学びにつながるのが文学部の魅力です。ゼミにおいても、自分の興味や関心を意欲的に追及することを求めています。人文学は人間活動の総体を対象とするので、さまざまな領域を研究する者がジャンル横断的に自由闊達な議論を交わすのが理想なのですが、今の学生たちは楽しそうに研究を進めています。

● 続いて学生の皆さんにお聞きします。英語英米文化学科に進学しようと思っただきかけや理由は何ですか？

石井：高校生の時に苦手意識があった英語をもう一度しっかりと勉強したいと思ったからです。また、翻訳ではなく原書で小説を読めるようになりたいという気持ちもありました。

宮宇地：高校受験をきっかけに英語の勉強を楽しく感じるようになり、香川県内にある大学でより専門的な英語の勉強がしたいと思ったからです。

● 現在所属している研究室(ゼミ)を選んだきっかけ、理由を教えてください。

石井：卒業論文では、小説か映画の研究をしたいと考えていました。アメリカ文学を専門としている山本先生から『The People of Paper』という小説を紹介していただき、それがきっかけでこのゼミに所属することにしました。

宮宇地：以前から洋画に興味があり、その中でもアメリカのウェス・アンダーソン監督作品が好きでした。そこで、アメリカ文学を研究している山本先生のゼミが自分に合っていると思い、この研究室を選びました。

● 現在ゼミでどのような研究活動をされていますか？

石井：文学作品を分析するにあたり、作品自体の精読のみならず、さまざまな文学理論を学んでいます。21世紀アメリカ文学の新たなトレンドである移民文学を研究する上で、アメリカとラテンアメリカ諸国の関係を踏まえ、フィクションの役割を批判的に検討していくのが今後の課題です。

宮宇地：ウェス・アンダーソン監督作品の

映画におけるアメリカン・イノセンスについて論文を書くために、特徴的な撮影技法やキャラクター造形などが生み出すウェスの独特な作風を研究しています。現在は、先行研究をまとめるために英語論文などを読んでいます。

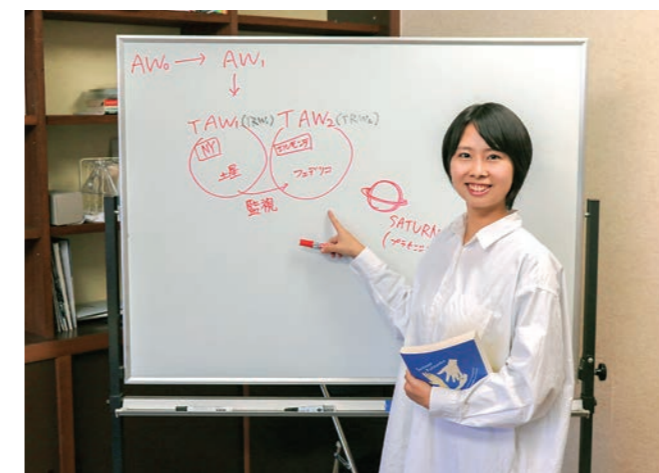
● これからの目標、将来の夢を教えてください。

石井：卒業研究をとおしてさらに多くの知識を獲得し、さまざまな観点から物事を観る訓練を積み、自分の視野を広げていきたいです。

宮宇地：大学4年間の勉強で身につけた語学とコミュニケーション力をいかして、海外での仕事に挑戦したいと考えています。



先行研究のための文献資料



メタフィクションの作品構造を分析する石井さん



映画の構図を分析してレジюме作成をする宮宇地さん

外国の文化や歴史、言語や文学に興味のある方は…

P11の留学制度をCheck!

Let's study abroad!



クラブ・サークル 大会結果

徳島キャンパス

- 準硬式野球部
 - ・四国地区大学準硬式野球 2017 春季リーグ戦大会 / 第3位
 - ・清瀬杯 第49回全日本大学選抜準硬式野球大会 / 出場決定

- バドミントン部
 - ・徳島市長杯争奪バドミントン大会
 - 男子二部複 / 優勝
 - 男子二部複 / 準優勝
 - ・第63回徳島県グランド対抗バドミントン大会
 - 男子団体二部 / 優勝
 - ・徳島県学生バドミントン選手権大会 (個人戦)
 - 男子単 / ベスト4

- 女子バレーボール部
 - ・第45回四国大学バレーボール春季リーグ戦 / II部 3位

- 男子バレーボール部
 - ・第45回四国大学バレーボール春季リーグ戦 / III部 3位

季リーグ戦 / III部 3位

- 弓道部
 - ・四大定期戦 / 男子団体準優勝

- 卓球部
 - ・第51回春季リーグ四国学生卓球選手権大会
 - 男子団体2部リーグ / 3位

香川キャンパス

- 卓球部
 - ・第54回高松市東讃地区卓球大会
 - 団体戦3部 / 優勝

- 陸上競技部
 - ・平成29年度屋島陸上競技力二部大会
 - ハンマー投げ / 優勝
 - 文化財学科3年 森 大樹
 - ・第71回中国四国学生陸上競技対校選手権大会
 - ハンマー投げ / 優勝
 - 文化財学科3年 森 大樹

※天皇賜盃第86回日本学生陸上競技対校選手権大会 (全日本インカレ) の権利を獲得

- 陸上競技
 - ・男子ハンマー投げ / 優勝
 - 文化財学科3年 森 大樹

- 剣道競技
 - ・女子団体 / 3位

- ソフトテニス競技
 - ・団体 男子Bリーグ / 4位
 - 女子Bリーグ / 3位

- バドミントン競技
 - ・男子団体 / 4位

- 空手道競技
 - ・男子組手 / 2位
 - 総合政策学科3年 寺内一朗
 - ・女子 (オープン競技) 形 / 1位
 - 薬学部薬学科2年 小川実希
 - 形 / 3位
 - 総合政策学科2年 森山慶子
 - 組手 / 2位
 - 薬学部薬学科2年 小川実希

- 水泳競技
 - ・100m 自由形 / 優勝
 - 理学療法学科3年 新岡茜里
 - ・200m 自由形 / 2位
 - 理学療法学科3年 新岡茜里
 - ・100m 背泳ぎ / 2位
 - 理学療法学科3年 片山 遥
 - ・200m 背泳ぎ / 2位
 - 理学療法学科3年 片山 遥
 - ・100m 平泳ぎ / 2位
 - 香川薬学部薬学科3年 矢野紋音
 - ・50m バタフライ / 2位
 - 香川薬学部薬学科3年 矢野紋音
 - ・200m フリーリレー / 3位
 - ・400m フリーリレー / 3位
 - ・200m メドレーリレー / 2位
 - 女子総合 / 3位

クラブ・サークル紹介



徳島キャンパス

空手道部は、毎週月曜日と木曜日の18時～20時、体育館にて稽古を行っています。

私たちは4大流派のうちのひとつ、剛柔流の流れを汲む「古流剛柔」という流派で、「スポーツ」の空手ではなく、あくまで実践的な「武道」の空手として日々活動しています。

2014 (平成26) 年に空手同好会を結成、日ごろの活動が認められ、2017 (平成29) 年「空手道部」に昇格することができ、第68回 四国地区大学総合体育大会に出場しました。

部員は、大学から空手を始めた人がほとんどですので、初心者大歓迎です。興味のある方は、ぜひ稽古を見学に来てください。一緒に空手を始めましょう。



香川キャンパス

私たち硬式野球部は、部員・マネージャー合わせて30人で活動をしており、1年生から4年生まで仲が良くまとまりのあるチームです。現在、四国6大学リーグ2部優勝、1部昇格を目標に練習をしています。

私たちのチームの特徴は、高校で野球をしていた人ばかりではないということです。小・中学校までは野球をしていなかった人も数名います。また、采配も自分たちです。攻撃中にサインを出すなど高校までとは違う視点で野球ができるので、将来、指導者をめざす人はその練習にもなります。

私たちのモットーは「楽しんで勝つ」ことです。やはり野球というスポーツを心から楽しめることが大事だと思います。自分たちがやるべきことをやり、勝つためにするべきことを考えて活動しています。



第68回 四国地区大学総合体育大会 (四国インカレ徳島大会) 壮行会が盛大に開催されました!

第68回 四国地区大学総合体育大会が、6月17日(土)～7月9日(日)にかけて、徳島県を会場として開催され、本学はバスケットボール・剣道・バドミントン・準硬式野球の4競技を学生・教職員が事務局として担当しました。

今年度は新たに空手道部と硬式テニス部が加わり、徳島キャンパスおよび香川

キャンパス併せて、16競技に18部が出場しました。

昨年度から新たに始まった学生が主となって運営する四国地区大学総合体育大会壮行会を、今年も6月13日(火)・20日(火)に盛大に開催しました。

高知県人会よさこい「TOSAMONO」の華やかなオープニング、山城祭実行委

員長激励挨拶、出場各部代表決意表明、桐野豊学長・村崎正人理事長の激励挨拶、沖縄県人会エイサー団体「ニライカナイ」のエイサーと、教職員・学生が協力したエールで大学が一体感に包まれたすばらしい壮行会となりました。

出場18部

- ・陸上競技部
- ・硬式野球部
- ・準硬式野球部
- ・軟式野球部
- ・硬式テニス部
- ・バドミントン部
- ・男子サッカー部
- ・男子バレーボール部
- ・女子バレーボール部
- ・男子バスケットボール部
- ・女子バスケットボール部
- ・水泳部
- ・卓球部
- ・剣道部
- ・弓道部
- ・空手道部
- ・ソフトテニス部
- ・フットサル部

6月13日(火)

徳島キャンパス附属図書館前 (12時40分～13時)

- ・司会進行……………メディアデザイン学科3年 宮本卓実さん (放送部)
- ・オープニング……………高知県人会よさこい「TOSAMONO」
- ・山城祭実行委員長激励挨拶……………食物栄養学科2年 二宮このはさん
- ・出場各部決意表明……………16競技18部代表
- ・エール……………沖縄県人会エイサー団体「ニライカナイ」

6月20日(火)

2号館 アカンスホール (15時～15時20分)

- ・司会進行……………音楽学科4年 武市実咲さん (2年連続)
- ・オープニング……………高知県人会よさこい「TOSAMONO」
- ・激励挨拶……………桐野 豊学長・村崎正人理事長
- ・出場部代表決意表明……………児童学科3年 松田能貴さん (準硬式野球部主将)
- ・エール……………沖縄県人会エイサー団体「ニライカナイ」

◆ウィーン国立音楽大学 創立 200 周年記念式典に参列

2017(平成29)年6月6日(火)、本学の学術協定校であるオーストリアのウィーン国立音楽大学は創立200周年を迎えました。村崎正人理事長、ジュゼッペ・マリオリ音楽学部長、村崎和子音楽学部教授はこの栄えある式典に招待を受け、ウィーン楽友協会において催された式典・音楽会に参列いたしました。

式典は世界最高峰の音楽大学に相応しく、オーストリア大統領夫妻、首相夫妻、楽友協会館長夫妻をはじめ、国の重責を担う方々の祝辞の後、オーケストラ演奏で始まったコンサートは、華やかに祝賀ムードを盛り上げ、世界的に活躍している若きソリストたちが会場いっぱいに響

く熱演を繰り広げました。素晴らしい演奏を多数の参加者とともに聴きながら、ウィーン国立音楽大学の200年という大きな歴史の流れに関わることができたことを嬉しく思いました。

本学とウィーン国立音楽大学は2000年に学術協定を締結し、日本大使館において行われた協定式は、両国間の相互の親善と信頼のもと、厳粛さの中にも和やかな時間を持ち合わせた会となりました。

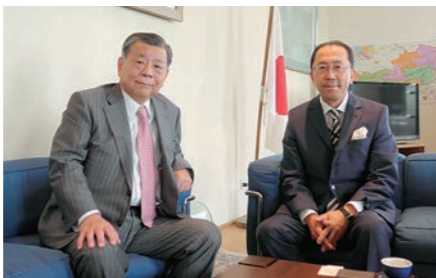
その後、毎年ウィーン国立音楽大学教授陣によるコンサートと講習会を開催することができ、本学学生の留学をはじめ、大きな絆を紡ぐなど実績を重ねてきております。式典では協定時の学長、フリッセン

シュラーガー教授と歓談し、永い歴史を振り返るなど有益な時を過ごすことができました。2000年より本学の講師を務め、多くの日本人学生をウィーンに招いてくださった先生方にも親しくお目にかかることができ、さまざまなことが懐かしく思い出されました。

また、今回も日本大使館を訪れ、小井沼大使にお会いし、日本人学生の支援のお願いをしてまいりました。その後、本学から留学しているウィーン国立音楽大学大学院生の佐々木綾子さん、尾島紫穂さんのお二人と懇談し充実した留学の成果をお聞きました。実り多いウィーン訪問となりました。



左から村崎和子音楽学部教授、村崎正人理事長、ウルライク・シッチ ウィーン国立音楽大学学長、ジュゼッペ・マリオリ音楽学部長



小井沼紀芳オーストリア駐劔特命全権大使と会見する村崎正人理事長



歓迎演奏終了後、握手し合う楽団員たち

◆2017(平成29)年度 保護者会・後援会役員会

2017(平成29)年6月15日(木)10時から、徳島キャンパス国際会議室において「保護者会・後援会役員会」が、役員63人・本学教職員42人が出席し開催されました。

議事として2016年度会計決算報告と承認、監査報告、役員改選、2017年度事業計画・予算案等が審議され、いずれも承認されました。役員会終了後は学食体験を大勢の学生で賑わう7号館パウゼ(食堂)で行い、大学教職員も交えて懇談いただきました。

昼食後の施設見学では、今年度新設された口腔保健学科の施設等を熱心に見学されていました。

また、12時30分からは、学園長室で保護者会支部長会が開催され、各支部の支部役員と担当者により、8月から15府県16会場で開催される支部会の日程・会場の確認、支部総会や個別面談など支部運営について協議が行われました。

2017年度の役員の方は次のとおりです。ご協力よろしく申し上げます。

- | | |
|------|------------------|
| 保護者会 | 会長 …… 佐々木克哉 (新任) |
| | 副会長 …… 日切 清 (再任) |
| | 川西 浩一 (新任) |
| | 小路 栄子 (新任) |
| 後援会 | 監事 …… 坂野 洋子 (再任) |
| | 遠藤美奈子 (再任) |
| | 会長 …… 田村 祥祐 (新任) |
| | 副会長 …… 神田 睦 (再任) |
| | 四宮 肇 (再任) |
| | 櫻本 孝 (新任) |
| | 監査 …… 福島 誠浄 (再任) |
| | 神崎 千寿 (再任) |
- (敬称略)

◆「在学生保護者のためのキャンパス見学会」のお知らせ

オープンキャンパスの開催に合わせ、在学生の保護者の皆さまにもご参加いただける見学会を企画しています。お子さまの学ばれるキャンパスで教育環境をご覧ください。参加のお申し込み、無料送迎バスのご予約につきましては9月上旬にホームページにてご案内いたします。保護者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



保護者会・後援会役員会の様子

徳島キャンパス 9月24日(日) 香川キャンパス 9月17日(日)

◆2016(平成28)年度 決算状況

2016(平成28)年度決算状況は、表1 資金収支計算書、表2 活動区分資金収支計算書、表3 事業活動収支計算書、表4 貸借対照表のとおりです。

資金収支計算書は、2016(平成28)年

度の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出を表しています。資金収支計算書の資金の流れを3つの活動区分ごとに表したものが活動区分資金収支計算書です。

事業活動収支計算書は、当該会計年度における経常的(教育活動および教育活動外)および臨時的収支の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金組入

額を控除した当該会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を表しています。

貸借対照表は決算日(2017(平成29)年3月31日)における財政状況を明らかにするもので、資産、負債および正味資産の状態を表しています。いずれも学校法人会計基準に基づき計算および表記しています。

表1 資金収支計算書 (単位:百万円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	7,440
手数料収入	88
寄付金収入	38
補助金収入	1,188
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	146
受取利息・配当金収入	702
雑収入	227
借入金等収入	0
前受金収入	1,163
その他の収入	2,488
資金収入調整勘定	△1,356
前年度繰越支払資金	9,243
収入の部合計	21,368
支出の部	
科目	金額
人件費支出	4,872
教育研究経費支出	2,076
管理経費支出	504
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	341
設備関係支出	349
資産運用支出	1,805
その他の支出	2,044
[予備費]	
資金支出調整勘定	△160
翌年度繰越支払資金	9,537
支出の部合計	21,368

表4 貸借対照表 (単位:百万円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	89,309
有形固定資産	52,041
特定資産	37,102
その他の固定資産	166
流動資産	9,816
資産の部合計	99,125
負債の部	
科目	金額
固定負債	1,571
流動負債	1,346
負債の部合計	2,917
純資産の部	
科目	金額
基本金	104,758
第1号基本金	101,667
第2号基本金	900
第3号基本金	1,600
第4号基本金	591
繰越収支差額	△8,550
翌年度繰越収支差額	△8,550
純資産の部合計	96,208
負債および純資産の部合計	99,125

表2 活動区分資金収支計算書 (単位:百万円)

科目		金額
学生生徒等納付金収入	7,440	
手数料収入	88	
特別寄付金収入	1	
一般寄付金収入	38	
経常費等補助金収入	1,183	
付随事業収入	146	
雑収入	227	
教育活動資金収入計	9,123	
人件費支出	4,872	
教育研究経費支出	2,076	
管理経費支出	504	
教育活動資金支出計	7,452	
差引	1,671	
調整勘定等	234	
教育活動資金収支差額	1,904	
科目		金額
施設設備補助金収入	5	
第2号基本金引当特定資産取崩収入	100	
減価償却資産買替引当特定資産取崩収入	26	
施設設備等活動資金収入計	132	
施設関係支出	341	
設備関係支出	349	
第2号基本金引当特定資産繰入支出	500	
減価償却資産買替引当特定資産繰入支出	1,300	
施設設備等活動資金支出計	2,490	
差引	△2,359	
調整勘定等	68	
施設設備等活動資金収支差額	△2,291	
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	△386	
科目		金額
預り金受入収入	1,853	
小計	1,853	
受取利息・配当金収入	702	
その他の活動資金収入計	2,555	
有価証券購入支出	5	
預り金支払支出	1,870	
小計	1,875	
その他の活動資金支出計	1,875	
差引	680	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	680	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	294	
前年度繰越支払資金	9,243	
翌年度繰越支払資金	9,537	

表3 事業活動収支計算書 (単位:百万円)

科目		金額
学生生徒等納付金	7,440	
手数料	88	
寄付金	38	
経常費等補助金	1,183	
付随事業収入	146	
雑収入	196	
教育活動収入計	9,091	
科目		金額
人件費	4,798	
教育研究経費	4,231	
管理経費	654	
徴収不能額等	0	
教育活動支出計	9,683	
教育活動収支差額	△591	
科目		金額
受取利息・配当金	702	
その他の教育活動外収入	0	
教育活動外収入計	702	
科目		金額
借入金等利息	0	
その他の教育活動外支出計	0	
教育活動外支出計	0	
教育活動外収支差額	702	
経常収支差額	111	
科目		金額
資産売却差額	0	
その他の特別収入	25	
特別収入計	25	
科目		金額
資産処分差額	18	
その他の特別支出	0	
特別支出計	18	
特別収支差額	6	
[予備費]		
基本金組入前当年度収支差額	117	
基本金組入額合計	△744	
当年度収支差額	△627	
前年度繰越収支差額	△7,928	
基本金取崩額	5	
翌年度繰越収支差額	△8,550	
(参考)		
事業活動収入計	9,818	
事業活動支出計	9,701	

〔注記〕

- *表1・表2・表3 …… 計算期間 2016(平成28)年4月1日から2017(平成29)年3月31日まで
- *表4 …… 2017(平成29)年3月31日現在
- *資金収入調整勘定 …… 期末未収入金および前期末前受金を調整
- *資金支出調整勘定 …… 期末未払金および前期末前払金を調整
- *基本金 …… 学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして事業活動収入から組み入れた金額
- *内訳は百万円未満の端数を四捨五入しているため、合計等が一致しないことがあります。

学園からのお知らせ

徳島文理大学附属幼稚園

◇一般見学説明会

入園を検討されている方、興味のある方向けに説明会を実施いたします。

日時：2017（平成29）年9月9日(土)

開始9時30分（10時40分終了予定）

場所：徳島文理大学附属幼稚園

※当日、おささま連れで参加される場合は、室内用の靴をご持参の上、動きやすい服装でお越しください。

また、電話予約でいつでも見学することができます。

下記の電話番号までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

徳島文理大学附属幼稚園 TEL（088）653 - 4941

徳島文理小学校

◇入試説明会

入学志願者へ、過去の入学試験を参考にして具体的に説明します。お気軽にご参加ください。

日時：2017（平成29）年10月21日(土)

受付開始9時～、開会9時30分（11時終了予定）

※事前予約不要・駐車スペースあり

また、学校見学を随時受け付けております。学校見学ご希望の方は、事前にお電話にてご連絡のうえ、見学にお越しください。

【お問い合わせ】

徳島文理小学校 TEL（088）652 - 5567

（お電話受付時間 平日8時～16時30分 土曜日8時～12時30分）

徳島文理中学校・徳島文理高等学校

◇入試説明会

徳島文理中学校・徳島文理高等学校の入試の要項を説明します。授業体験や入試問題の講習会を実施いたしますので、受験生、小・中学校在学学生、保護者の方、その他ご関心のある方はぜひ

コンクール・コンサート日程

第9回 徳島音楽コンクール 開催（応募受付中）

本コンクールは、音楽学習者の能力を育むとともに、徳島県民はもとより県外の皆さんにも広く音楽への関心を高めることを目的としています。グランプリを受賞された方には2018（平成30）年に開催されるコンサートで一流オーケストラと共演する機会が与えられますので、ぜひご応募ください。

日程：2017（平成29）年10月7日(土)

会場：徳島文理大学（徳島キャンパス）

応募受付期間：8月20日(日)～9月5日(火)

第40回 徳島文理大学ウインドオーケストラ定期演奏会

日時：2017（平成29）年10月15日(日) 14時開演

会場：むらさきホール（徳島キャンパス）

ご参加ください。

日時：2017（平成29）年9月30日(土)

13時00分～ 受付

14時00分～ 開会の挨拶・入試問題講習会・体験授業

16時30分～ 個別相談会

※事前予約不要・駐車スペースあり

【お問い合わせ】

徳島文理中学校・徳島文理高等学校 入試広報室

TEL（088）626 - 1225

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

◇2017（平成29）年 オープンキャンパス 開催中

高校生やその保護者など、本学に興味がある方を対象としたオープンキャンパスを開催しております。

学科説明会や模擬授業、入試イベントなど、多彩なプログラムで皆さまのお越しをお待ちしております。

徳島	日時：2017（平成29）年9月24日(日) 11時～16時
香川	日時：2017（平成29）年9月17日(日) 11時～15時30分

※無料送迎バスのご予約は、お電話または Web で

【お問い合わせ】 フリーダイヤル 0120 - 60 - 2455

【HP】 <http://www.bunri-u.ac.jp>

◇大学祭のお知らせ

10月に開催される徳島&香川キャンパスの大学祭は、模擬店や展示をはじめ、クラブ・サークル、県人会活動の日ごろの練習の成果を披露する各種ステージなど、催しが盛りだくさんです。大学祭は学外の方も自由に参加できます。

徳島 <small>山越祭</small>	日時：2017（平成29）年10月13日(金)・14日(土)・15日(日)
香川 <small>杏樹祭</small>	日時：2017（平成29）年10月14日(土)・15日(日)

第9回 徳島音楽コンクール入賞記念ガラコンサート

日時：2017（平成29）年11月4日(土) 午前開演

（開演時間は、出演者数によって決定いたします。詳細については、徳島文理大学音楽学部ウェブサイトをご覧ください）

会場：むらさきホール（徳島キャンパス）

【HP】 <http://wwwt.bunri-u.ac.jp/ongaku/>

第60回 徳島文理大学定期演奏会

香川 日時：2017（平成29）年12月9日(土) 14時開演

会場：村崎サイメモリアルホール（香川キャンパス）

徳島 日時：2017（平成29）年12月10日(日) 14時開演

会場：むらさきホール（徳島キャンパス）

文理OBオーケストラ 第18回 定期演奏会

日程：2018（平成30）年3月18日(日) 14時開演

会場：むらさきホール（徳島キャンパス）

◆2017（平成29）年度 新任教職員プロフィール

①出身地 ②最終校 ③博士号 ④前任 ⑤所属等

（※印は、平成28年度途中の採用者）

岡部 千鶴

①北海道 ②お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻修士課程 ④久留米信愛女学院短期大学ビジネスキャリア学科長・教授 ⑤教授・人間生活学部人間生活学科

中川利津代

①徳島県 ②徳島大学医学部栄養学科 ④徳島県徳島保健所栄養専門主任 ⑤教授・人間生活学部食物栄養学科

坂井堅太郎

①福岡県 ②長崎大学大学院水産学研究科修士課程 ③博士（栄養学） ④広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科教授 ⑤教授・人間生活学部食物栄養学科

岡林 春雄

①高知県 ②米国・州立ジョージア大学大学院教育心理学専攻博士（後期）課程 ③Ph.D ④山梨大学教育学部教授 ⑤教授・人間生活学部心理学科

山崎 暁子

①兵庫県 ②東京大学大学院医学系研究科医学部博士課程 ③博士（医学） ④九州工業大学准教授 ⑤教授・人間生活学部心理学科

藤崎 智子

①鹿児島県 ②東京医科歯科大学大学院医科学研究科博士課程 ③医学博士 ④東京都スクールカウンセラー／東京都板橋区心理検査員 ⑤教授・人間生活学部心理学科

松岡 貴史

①長崎県 ②東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程 ④鳴門教育大学特命教授 ⑤教授・音楽学部音楽学科

喜多紗斗美

①兵庫県 ②大阪薬科大学大学院薬学研究科薬理学専攻博士課程 ③博士（薬学） ④福岡大学医学部准教授 ⑤教授・薬学部薬学科

金井 一薫※（小南 きよみ）

①静岡県 ②日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士（前期）課程 ③博士（社会福祉学） ④ナイチンゲール看護研究所所長 ⑤教授・保健福祉学部看護学科

三宅洋一郎

①広島県 ②広島大学大学院歯学研究科歯学基礎系単位取得退学 ③歯学博士 ④徳島大学歯学部口腔保健学科・同大学大学院医歯薬学研究部教授 ⑤教授・保健福祉学部口腔保健学科

富岡 重正

①愛媛県 ②徳島大学歯学部歯学科 ③博士（歯学） ④徳島大学大学院医歯薬学研究部准教授 ⑤教授・保健福祉学部口腔保健学科

西川 啓介

①高知県 ②徳島大学大学院歯学研究科博士課程 ③歯学博士 ④徳島大学病院講師 ⑤教授・保健福祉学部口腔保健学科

本田 道隆

①福岡県 ②京都大学大学院電気工学第2学科修士課程 ④独立行政法人国立専門学校機構高松工業高等専門学校電気情報工学科教授 ⑤教授・保健福祉学部診療放射線学科

西村 圭弘

①滋賀県 ②大阪大学大学院医学系保健学専攻博士（後期）課程 ③博士（保健学） ④帝京大学福岡医療技術部診療放射線学科教授 ⑤教授・保健福祉学部診療放射線学科

古谷 彰毅

①山口県 ②山口大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程 ③博士（工学） ④NTT先端集積デバイス研究所ソーシャルデバイス基盤研究部主任研究員・部総括 ⑤教授・理工学部電子情報工学科

矢野 正祐

①愛媛県 ②愛媛大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程 ④愛媛県立松山西中等教育学校校長 ⑤准教授・一般総合科目／入試広報部副部长

渡邊 晋二

①香川県 ②東京農工大学工学部繊維高分子工学科 ④香川県立高松工芸高等学校校長 ⑤准教授・一般総合科目／香川キャンパス学生部副部长兼保健センター長

五反地由紀子

①徳島県 ②徳島県立保育専門学校 ④石井町すくすく子育て課長兼保育支援室長兼統括保育所長 ⑤准教授・人間生活学部児童学科

中村 亨

①徳島県 ②立正大学文学部地理学科 ④牟岐町立牟岐小学校校長 ⑤准教授・人間生活学部児童学科／徳島キャンパス教務部全学共通教育センター課長

田尾 公生

①徳島県 ②専修大学経営学部経営学科 ④徳島県立小松島西高等学校校長 ⑤准教授・短期大学部商科／入試広報部副部长

森川 咲子

①山口県 ②新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程 ③博士（医学） ④日本学術振興会特別研究員 ⑤講師・人間生活学部食物栄養学科

岡島真理子

①徳島県 ②徳島県立看護専門学校保健助産学科 ④徳島県立中央病院看護局長補佐兼看護師長 ⑤講師・保健福祉学部看護学科

①出身地

②最終校

③博士号

④前任

⑤所属等

（※印は、平成28年度途中の採用者）

中江 弘美

①徳島県 ②徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻修士課程 ④徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学講座助教 ⑤講師・保健福祉学部口腔保健学科

十川 悠香

①徳島県 ②徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻修士課程 ④徳島大学病院診療支援部（歯科衛生士） ⑤講師・保健福祉学部口腔保健学科

平田 久美

①徳島県 ②小松島赤十字看護専門学校 ④徳島赤十字病院認定看護師 ⑤講師・地域連携センター／糖尿病看護認定看護師教育課程専任教員

西雄 千佳

①徳島県 ②徳島大学医学部栄養学科 ④学校法人穴吹学園穴吹デザインビューカレッジ ⑤助教・人間生活学部食物栄養学科

坂見 健二

①愛媛県 ②徳島大学工学部電気工学科 ④㈱四電工人事労務部人材開発センター ⑤助教・理工学部電子情報工学科

久保山和哉

①山口県 ②九州大学大学院薬学府医療薬科学専攻博士課程 ③博士（薬学） ④基礎生物学研究所統合神経生物学研究部門博士研究員 ⑤助教・香川薬学部薬学科

阿部 恭子

①徳島県 ②徳島文理大学大学院人間生活学研究科心理学専攻臨床心理学コース博士（前期）課程 ④徳島県県民環境部次世代育成・青少年課青少年活動推進員 ⑤助手・人間生活学部心理学科

板東 真也

①徳島県 ②徳島文理大学理工学部ナノ物質工学科 ⑤事務職員・入試広報部

橋本 実佳

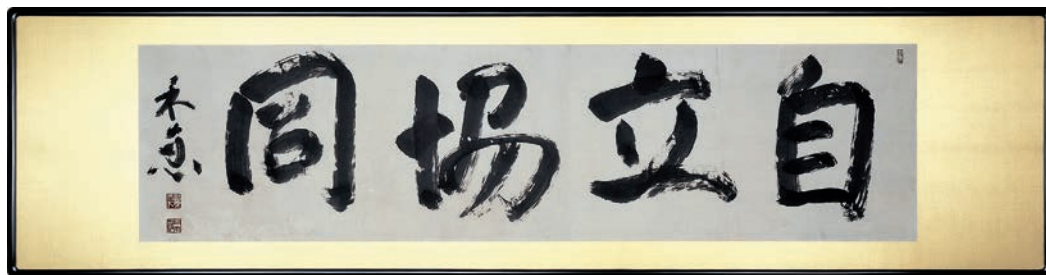
①香川県 ②徳島文理大学文学部英語英米文化学科 ⑤事務職員・徳島キャンパス教務部教務グループ

西野 貢

①徳島県 ②徳島県農業大学校 ④東とくしま農協 ⑤寮長

西野美智子

①徳島県 ②徳島文理大学短期大学部 ④全農徳島県本部 ⑤寮監



徳島文理大学の建学精神

徳島文理大学の建学精神は、「自立協同」である。

この建学精神は、学祖村崎サイが明治28年（1895年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20年（1945年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設を目指した。その過程で、「他からの協力、他への協力なくして、『人間の自立』はあり得ない。」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。

この建学精神の意味するところは、成長してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」ことなので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「人」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。

爾来、学園はこのような歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、短大、大学併せて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。

今後とも建学精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

2017・2018 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス
(11:00～16:00)

9月24日(日)

香川キャンパス
(11:00～15:30)

9月17日(日)

徳島キャンパスにて合同開催
2018年3月24日(土)

◆◆無料送迎バスのご予約は電話またはWebで◆◆ ☎0120-60-2455 <http://www.bunri-u.ac.jp>

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ



(LINE)
QRコード

<http://www.bunri-u.ac.jp>



校章の由来 …Acanthus とは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。

※学生の学年は 2016 年度のものです。